

【泉区】令和元年第2回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和元年 6月 5日 午後4時02分 ~ 午後5時11分
場 所	泉区総合庁舎4階 消防署会議室
出席者	<p>【座 長】横山 勇太朗 議員</p> <p>【議 員：3人】梶村 充 議員、源波 正保 議員 麓 理恵 議員</p> <p>【泉 区：33人】額田 樹子 区長、鳥海 仁 副区長 松浦 淳 福祉保健センター長 村田 二郎 福祉保健センター担当部長 山根 好行 土木事務所長 森田 清 泉消防署長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和元年度泉区個性ある区づくり推進費執行計画について</p> <p>2 その他</p> <p>(1) 令和元年度泉区運営方針について</p> <p>(2) 泉区区民意識調査について</p> <p>(3) 深谷通信所跡地にかかる今後の取組について</p> <p>(4) その他</p>
発言の 要 旨	<p>1 令和元年度泉区個性ある区づくり推進費執行計画について</p> <p>麓議員：地域交通サポート事業は道路局事業となっているが、泉区でいうとEバスがそれにあたると思うが、他の地域でも必要とされていて実証実験をやって結局はだめだったこともあった。今、具体的に泉区内でこれに向けて取り組んでいる地域があるのかどうかを教えてください。</p> <p>長井区政推進課長：現在新橋地区において会議を開いており、地域交通について、今後実証実験ができないか議論をしているところ。事業者とどのようにできるかを関係局と検討しており、状況が進み次第、報告する。今の状況としては、実証実験のできる事業者があるかどうかを調整している。</p> <p>麓議員：Eバスが走ったのも地元で強力で推し進めようと頑張った方がいたからで、新橋も地元で必要という声があり、それを進めた方がいる</p>

のだと思うが、なかなかそうもいかない地域もある。せっかくJRと直結して、便利になっていく中で、新橋や岡津の地域がそこにどうつながっていくのか。また、地下鉄の速達性が高まったが、しらゆりの山付近に住んでいる方たちをそこにどうつなげていけるのか、面としてどう広げていくのかを考えていかなければならない。地域からの発意にバックアップが必要だと思うので、その点について道路局はもちろん、地元の役所として、ますます力を入れていかなければいけない事業なので、よろしくをお願いしたい。

梶村議員：関連でお願いすると、今回、特別委員会で郊外部再生・活性化の委員会に所属していたが、コミュニティバスの問題について議員側でも取り上げた。結局、今まで進んでこないのは公に援助するのは難しいことがあるからで、国のほうの対策をしっかりとしないと国費でもないとなかなかやっけていけない。全市で4,000万円だが、1区でも足りないくらい。今言ったしらゆりの問題もそうだし、上飯田も買い物にも行けないという人がたくさんいる。上飯田の山の近くは特に。全市的に、全区的に調べてもらい、そのサポートや中央への働きかけはするので、本当にやってもらいたい。

額田区長：地域交通サポート事業については、立ち上げて10年以上経っている。特に、最近では自分の力ではどうすることもできない、地元の発意ができないような地域をどう助けていくのかをここ数年ご指摘をいただいている。少しでも声に応えるために、今年度から補助の拡充などもしている。地元への支援ということでコーディネータを派遣しているが、資金的な面での苦しさも確かにあり、全市的に道路局や政策局も含めて話し合っていきたいと思う。ただ安易に補助金を、特にランニングコストに入れると、補助金がなくなったときにだめになってしまうという、かつての苦い経験もあるため、持続性と困っている方がたくさんいることを含めて全市的に取り組んでいきたいと思う。区長会等でも意見を言っていきたいと思うので、よろしくをお願いしたい。

梶村議員：泉サポートプロジェクトでは地域ケアプラザや介護施設への送迎もあるが、継続してやっけていても形になってこない。スタンディングの費用をある程度見ればかなりできるのではないかと思う。その辺の把握している課題を出してもらい、今までの新橋の経緯も含めて取り組んでももらいたい。

麓議員：安全・安心なまちづくりの防災対策事業について、女性の視点を盛り込んだ環境づくりで更衣用テントや防犯ブザー整備とあるが、数がどうなのか、どこにどういったものが整備されているのかを教えてください。旧いちよう小学校の拠点訓練をのぞいた際、外国籍の方の出席の把握も難しい、雰囲気としてはまだまだ少ない、という意見もあった。外国籍の方が多い地域での課題として捉えているものがあれば教えてください。

岡本総務課長：女性の視点を盛り込んだ環境づくりについての回答としては、更衣用のテントを3つ用意し、今年度、地域防災拠点それぞれに配布する予定。例えば体育館で避難生活を送っている方が遠慮なく着替えができるように配布する。また、防犯ブザーについては各拠点に整備するのではなく、実際に震災が起こったときに区の職員が現地に派遣される際にそれを持って行き、更衣する場合や用を足す場合に貸し出し用として配備し、実際に使えるようにする。すでに区役所にはあるので、訓練等で使用したい方がいれば、その時に使えるよう各地域防災拠点の運営委員長には伝えている。旧いちよう小学校の拠点訓練に外国籍の方が少なかったことについては、言葉の壁があることが課題であると考えている。また、運営委員長の方とも今年度の結果を検証しながら引き続き地域の皆さまに参加していただけるような取組を、出前講座等を通じて行っていきたい。

麓議員：各拠点ですぐに使えるような掲示用のものが色々と渡されているが、その外国語表示のものは渡されているのか。

岡本総務課長：外国語に翻訳したものはまだできていないため、そこも含めてニーズを確認し、検討する。

梶村議員：交通安全対策について、最近、高齢者の交通事故が多く、交差点の整備や見直しをしていると思うが、泉区ではどうか。

洞澤土木事務所副所長：大津市での事故を受け、横浜市内では全部で256の交差点を点検するということで、そのうち泉区については、今14か所の交差点を一斉点検したいと考えている。点検後、安全対策が必要と判断した場所については、県警と連携しながらしっかりと対策を考えて実施をしていきたい。

梶村議員：ポールが立っているところは多くあるが、ポールにぶつけてポ

ールを倒しているケースでは、車はそのまま発進したが、ポールだけが倒れていたの、効果はあるのだろう。だが、車が入り込んでしまう交差点はまだまだあると思う。高齢者による暴走事故も頻繁に起きている。子どもたちが通る、特に長後街道で立ってみていると、集団で順番に歩いている子どもの列に車が突っ込んだら大変なことになる。段差もあるから大丈夫だと思うが、本当に真剣に対応してほしい。

洞澤土木事務所副所長：交差点だけではなく、毎年実施しているスクールゾーン協議会と一緒にまち歩きをしている。今年度も6月中には終わる予定なので、そこでいただいた意見も踏まえながら必要に応じて安全対策していきたい。

梶村議員：スクールゾーンの話も予算がかなりつくようになったので、安全対策も始まっている。地権者との用地買収の話がつかないところもあると多々聞いているので、精力的に進めてほしい。東中田小の公園や中田中学校のところも事業化されているようだが、時間がかかっている。その辺も含めてやってほしい。

洞澤土木事務所副所長：東中田小学校について、ご指摘のとおり公園の部分の歩道整備ができ、残る反対側についても地権者と話をしており、早くできるようにしたい。中田中学校の入口についても、昨年度土地を購入することができたので、夏休みが終わるころには歩道整備をしたいと思う。

梶村議員：中田さちが丘線の工事がやっと始まるということで、そこができると緑園から中田方面へ流れていく路線でもバス停などが考えられると思う。2年かかるということだが、早めに手を打ってもらいたい。岡津の一角にある、坂になっている緑園高校の下の方は交通が不便だ。それも道路ができれば解決策が見つかると思うので、その辺もお願いしたい。

横山議員：就労困難な若者の社会参加促進事業について、最近非常にいたたまれない事件が2件続いた。偶然、改選前にも前回のこの場で、ひきこもりについて質問させてもらった。ひきこもりの定義はよいとして、ここに書かれている「若者」の対象年齢について教えてほしい。

木下学校連携・こども担当課長：ひきこもり等困難を抱える若者への支援では、15歳から39歳までということで捉えている。ただ、実際に現場の専門機関では40歳を過ぎた相談もあることから、柔軟に対応してい

る。

横山議員：テレビ報道や新聞報道等で事件の詳細はご存知だろうが、私自身、第二次ベビーブームのピークの年代生まれで、いわゆるロスジェネ世代とも言われていた。この年代においてもひきこもりで苦しんでいる人はおり、自身の経験から気になって前回の会議で発言をした。自分も議員という立場になったので、ひきこもりの人たちに行政として、政治として手を差し伸べていかなければならないと非常に責任を感じる思いがある。当然、これは本庁の方から色々な通達や方針が出てから具体的に対応するのもかもしれないが、今以上に、今後は区役所や健康福祉局の方に力を入れてほしいと要望する。

松浦福祉保健センター長：若者が39歳というとらえ方になっているが、最近の状況から上の年代もひきこもりで悩んでいるという状況もあり、今回、この事業の中では少し年代を拡大し、44歳までを想定している。いただいたご意見を踏まえ、対応できるか検討したい。

横山議員：よろしくお願ひしたい。

2 その他

(1) 令和元年度泉区運営方針について

梶村議員：MIRAI（水素車）を所有していると思うが、もう少し何かアピールする方法を考えたほうがいいのではないか。

額田区長：MIRAIの活用については、12月のスマートイルミネーションで発電機能を使って映画上映の実施や神明台の集いに持っていくなどしているが、知名度がそれほどないかもしれない。せっかくの高い車なのでもっと活用できるよう努める。

梶村議員：せっかく水素スタンドが泉区内にあるが、閑散としているので、もっとMIRAIを活用してほしい。欲しい人には補助金も出していて、制度としてはかなりいい制度だが、車がないとどうにもならない。せっかくスタンドがある区なので、温暖化対策統括本部とも相談してほしい。

(2) 泉区区民意識調査について

梶村議員：買い物に困っている買い物難民がいるので、地域での交通行動について聞きたい。一種低層の地域ではコンビニも建てられないという大きな問題もある。特に中田にはほとんどないので、そういった細か

いところも含めて相当要望が来ると思うので、我々も真剣に取り組まなければいけない。用途地域の見直しは、横浜市でもできるようになっているので、その辺も調査してくれると嬉しい。

長井区政推進課長：日頃の買い物や飲食の行動についても調査項目として考えているので、そちらも結果等を報告する。

(3) 深谷通信所跡地にかかる今後の取組について

梶村議員：トイレについて、当然、下水道もなければ水道もないところだが、公共下水道につなげるのであれば、その辺はどうするのか。

矢口政策局基地対策課担当課長：新たに近くの下水道と水道をひっばってくる。その際、かまくらみち等の道路ではなく、基地内を通していくことで舗装等しないで安価にできるよう考えている。

梶村議員：それは戸塚側か。

矢口政策局基地対策課担当課長：中田町側の通信隊前バス停の通路舗装がある。防犯灯設置も行っており、その右側に大きなマスがあり、そこの中を通してつなげていく予定。

梶村議員：いつ頃整備されるのか。

矢口政策局基地対策課担当課長：今年度いっぱいを考えている。

梶村議員：戸塚の中島議員が言っていたが、サッカーグラウンドを仮設で作ろうとしている。整備はサッカー協会が行うが、ネットなどお金がかかるので非常に頭を悩ませている。場所は多目的広場の右側になると思うが、その辺との整合性は取れているのか。

矢口政策局基地対策課担当課長：まさにこの多目的広場のところに少年サッカー場が3面、スポーツで使えるようなところを整備している最中で、実際に広場としての整備は終わっている。あとは入口や駐車場などの工事、かまくらみちに接していることからボールが飛び出さないよう、安全対策をこれからすると聞いている。それができ次第、使えるようになる。資料に赤い色が塗ってあるところがその対象のところ。

(4) その他

備 考